

【会議録】

会議名	第2回赤坂・青山でつながり隊運営支援業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和6年2月1日（木）午後2時00分から午後4時00分まで
開催場所	赤坂地区総合支所2階小会議室
委員	出席者 5名 新宮委員長、坂本副委員長、河本委員(オンライン参加)、中村委員(オンライン参加)、木下委員(オンライン参加) 欠席者 なし
事務局	赤坂地区総合支所協働推進課協働推進係 中澤係長 赤坂地区総合支所協働推進課協働推進課係 牟田
会議次第	1 開会 2 第1回選考委員会会議録について 3 第一次選考への参加について 4 第一次選考結果について 5 第二次選考について 6 閉会
配付資料	資料1 第1回選考委員会会議録 資料2-1 第一次審査集計表 資料2-2 事務局採点について 資料2-3 第一次審査講評まとめ（案） 資料3 第3回選考委員会進行スケジュール（案） 資料4 第二次審査の実施要領（案） 資料5 第二次審査表（案）
会議の結果及び主要な発言	
(発言者)	
事務局	1 開会 (開会の挨拶) (事務局から配付資料について確認)
事務局 委員長	2 第1回選考委員会会議録について (事務局から資料1について説明) 意見等ありますか。 (委員一同、異議なし)
事務局	3 第一次選考への参加について 本件の事業者の参加資格について、募集要項では、参加表明書提出日を基準日とし港区物品買入れ等競争入札参加資格を有することを条件としています。参加希望を出した事業者は1者いたのですが、参加表明書提出時点で港区物品買入れ

	<p>等競争入札参加資格を有しておりませんでした。本来ならば本件に参加することはできないのですが、当該事業者以外の事業者からの参加希望がありませんでしたので、当該事業者が委託事業候補者と決定した際には港区物品買入れ等競争入札参加資格を取得することを条件にこのまま選考を進めさせてよろしいかお伺いいたします。</p> <p>(委員一同、異議なし)</p>
事務局	<p>4 第一次選考結果について (事務局から資料2-1～2-3について説明)</p>
委員長	<p>各委員から第一次審査の講評をお願いしたい。</p>
B 委員	<p>過去の実績が多く、オリジナルのネイバーフッドデザインの考え方で地域コミュニティ醸成を支援してきた経験は評価する。また、課題である情報発信に、対象を特に若い世代に向けた視点、情報交換にオンラインツールの活用の検討は評価する。</p>
C 委員	<p>業務に対する基本姿勢について熟知しており、業務もよく理解している。また、企画内容について、年間を通じた業務計画について、令和7年度プログラム計画の提示時期が少し遅いと思った。調査手法については、区と調整するとあるが、かなりノウハウがあり、経験豊富な事業者であるから、具体的な提案事項があると更によいと思った。</p>
D 委員	<p>基本的には独自のネイバーフッドデザインの考え方があり、経験も豊富だと思った。契約した場合、今後の調整の中で様々なアイデアが出ると思う。調査手法については、専門の部署との連携とあるので、スムーズに調整できる体制はあると思う。また、提案内容については具体的に記載されていたが、町会・自治会等の加入者減少についての記載が十分でなかったため、第一次審査を通過すれば、この点第二次審査の際に聞いてみたい。最後に、イベント内容についても記載されていたが、実現可能性についても第一次審査を通過すれば、第二次審査の際に聞いてみたい。</p>
E 委員	<p>資料全体の出来としては合格点であり、資料作成に長けた事業者だと思うが、提案内容の実現可能性について、第一次審査を通過すれば、第二次審査の際に聞いてみたい。様式6項番2については資料の抜粋が多く、様式6項番3については、「赤坂・青山地区」の部分をお他の地区に読み替えることが可能な内容で、特に赤坂青山地区に特化した記述とは感じられなかった。様式7については、様々な提案があり、実績もあるが、採点基準表に示している評価の視点にまで提案資料からは読み取れなかった。また、区の職員が行うべきところまで踏み込んだ提案書だった。例えば、様式7の組織体の見直しの部分について、区との役割分担を明確にした方がいい。</p>
A 委員	<p>資料としては出来上がっている印象。業務、地域の理解についても幅広く課題認識</p>

	<p>しており、これまで同様の業務を担ってきていることが資料から分かる。これまでのノウハウを当事業に活かしてもらいたい。</p> <p>また、提案の中で個々の町会・自治会の存在目的や活動内容を再度調整する必要があるとあるが、それぞれの町会・自治会には歴史や思い入れがあるので、この点十分配慮してもらい、受け入れられやすい体制をとってもらいたい。この資料からは読み取れない部分もあるかと思うが、第一次審査を通過すれば、第二次審査の際に聞いてほしい。</p>
委員長	<p>これまでの講評を踏まえ、第一次審査の評価において変更はあるか。 （委員一同、異議なし）</p> <p>【第一次審査通過について】 A事業者は基準点を超えたので、第一次審査通過でよいか。 （委員一同、異議なし）</p>
事務局	<p>5 第二次選考について （事務局から資料3～5について説明）</p>
E 委員	<p>①資料4のヒアリングについて、事業者の回答が長くなり、時間内に質問ができないケースが多々ある。事業者に対して回答は簡潔にするように伝えたほうが良いかと思う。もしくは、ヒアリングが延びても問題ないように、事務局で柔軟に対応できればいいと思う。</p> <p>②資料4「1 第二次審査の方法」「(3) 選考委員への配布資料」の「ヒアリングについては、様式4～8に関する質問が出る可能性があります。」という文章について、様式7を中心に質問するので敢えてこのような表現をしているのか。</p>
事務局	<p>①について、ヒアリングは委員の皆さんには十分に行っていただきたいので、多少時間が過ぎても調整はできる。資料中に文章を追記するかどうかについては、事務局で検討する。</p> <p>②について、ご認識のとおりである。差し支えなければ該当文章を削除対応も可能だが、いかがか。</p>
E 委員	<p>②について、「以前提出いただいた資料をもとに質問を行う」という文章に修正するのはどうか。</p>
事務局	<p>いただいた提案をもとに事務局で調整する。</p>
事務局	<p>6 閉会 （閉会の挨拶）</p>